

令和7年度 視察状況一覧

■第2次奈良市文化振興計画推進に伴う事業視察

	日程	会場	視察委員名	視察事業
1	11月13日(木)	奈良市美術館	関根 俊一 委員	pook展『てのひら散策』
2	11月28日(金)	杉岡華邨書道美術館	島 浩二 委員	なら華邨賞受賞作品展
3	11月28日(金)	ならまちセンター	風間 勇助 委員	グリーン・マウンテン・カレッジ ①ゲスト:ジャーナリスト浅野詠子氏×ブブ・ド・ラ・マドレーヌ氏
4	11月29日(土)	ならまちセンター	山下 里加 委員	・古都祝奈良の学校 ・グリーン・マウンテン・カレッジ ②ゲスト:香川大学法学部教授石井一也氏×小山田徹氏
5	1月20日(火)	済美南小学校	上田 假奈代 委員	奈良市立小学校での弦楽器体験事業

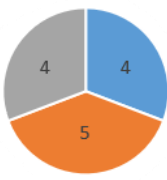
■奈良市所管文化施設の視察

	日程	会場	視察委員名	視察事業
1	11月26日(水)	入江泰吉記念奈良市写真美術館 音声館 ならまちセンター なら100年会館	藤野 一夫 委員 安藤 幸 委員	奈良市所管文化施設の施設視察

事業名	奈良市美術館活性化事業Vol.9「あそぼ！ミュージアム」 pook展『てのひら散策』				
主催	奈良市、奈良市美術館（一般財団法人奈良市総合財団）				
文化振興計画項目	(1)市民の文化に対する意識の高揚、(2)芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充 (8)子どもたちの情操を高める文化環境の整備、(9)文化に係る交流の促進				
目的	子どもから大人までの幅広い世代の方へ現代芸術の展覧会を通して日常の見え方や感じ方に変化を与える鑑賞体験を行うことで文化芸術鑑賞の機会を提供し市民文化振興を図る				
重点対象	展覧会を無料にすることで普段文化に触れる機会の少ない層を対象				
目標値(人)	来場者数	実績値(人)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	2000		9,430	7,180	7,469
事業区分(指定管理事業のみ記入)	指定管理事業	事業予算	収入(円)		支出(円)
			2,300,000		2,300,000
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
デジタル技術とクラフトワークで様々な作品をつくる本多大和氏(ひとりスタジオ「pook」)を迎え、触れて、観察して、体感するデジタル作品展を実施する。手のひら型のテーブルでレールをつなぐと町が現れ、吹き込んだ言葉が歩きはじめ、手を動かすと花が描ける等、コンピューターサイエンスとアートを融合させたインタラクティブアートを展示する。					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期		内容			
令和6年8月～		事業協力交渉			
令和7年4月～		事業内容等打ち合わせ			
9月末～		奈良しみんだより、デジタルサイネージ等で広報			
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
旅費交通費	10,000	諸謝金	15,000		
通信運搬費	40,260	租税公課	1,000		
消耗品費	23,000	委託費	1,980,000		
印刷製本費	180,000				
保険料	50,000				
現状					
開催日 10月25日(土)～11月30日(日)					
奈良市美術館活性化事業は、令和2年度から実施。 <近年の開催状況> 令和4年度:夏期に「妖怪POP 妖怪書家 逢香展」を開催。 令和5年度:夏期に「～絵本作家 岡田よしたかの世界～展」を開催。 令和6年度:夏期に「永井秀幸 とびでる! 錯覚3Dアート展」、春期に「ヒメコレ! 現代アートコレクションでめぐる時空旅行」と2事業を開催。 令和7年度:夏期に「シルクロードの暮しー絨毯、茶道、そして建築一展」を開催。					
課題					
普段美術館に関心のない方に向け、来場につながるような広報や仕掛け・工夫。 (商業施設内という立地を生かした集客の方法等)					

事業名	第1回 なら華邨賞 受賞作品展				
主催	奈良市、奈良市杉岡華邨書道美術館(一般財団法人奈良市総合財団)				
文化振興計画項目	(1)市民の文化に対する意識の高揚、(2)芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充 (4)伝統文化の保存、普及及び継承、(6)青少年の文化活動の支援				
目的	奈良市の名誉市民で、「かな書」の分野で初の文化勲章を受章した杉岡華邨の業績を顕彰し、墨や筆を伝統産業とする奈良から新たな書道文化を発信するとともに、新たな時代の書道文化を担う若手作家の発掘と育成を目的に新たな賞の創設と、公募展を行う。				
重点対象	令和8年4月1日現在で40歳以下の人				
目標値(人)	来場者数	実績値(人)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	2,000		R7年度より初めて実施		
事業区分(指定管理事業のみ記入)	指定管理事業	事業予算	収入(円)		支出(円)
			1,939,000		1,939,000
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
令和7年7月1日～8月3日を公募期間として、市内外問わず広く40歳以下の新進気鋭作家の作品を募集。高木厚人館長や、国立文化財機構の島谷弘幸理事長等を審査員として、3次審査まで実施。2次審査では、漢字及び漢字系調和体部門、かな及びかな系調和体部門に分かれて審査を行った。最終、第一席(なら華邨賞)、第二席(寧楽賞)、第三席(南都賞)をそれぞれ1名、優秀賞17名程度を決定。受賞作品展を令和7年11月1日～令和8年1月18日まで開催し、会期中は館長や出展作家によるギャラリートークも予定している。					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期		内容			
令和7年6月～		広報開始			
令和7年7月1日～8月3日		作品募集期間			
令和7年8月～9月		審査(3次審査まで)			
令和7年11月1日～令和8年1月18日		展覧会会期(表彰式は11/30)			
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
通信運搬費	224,500	委託費	867,500		
消耗品費	80,000				
印刷製本費	224,000				
諸謝金	493,000				
租税公課	50,000				
現状					
<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会会期: 令和7年11月1日～令和8年1月18日 ・表彰式: 11月30日14時(ならまちセンター市民文化ホール) ・高木厚人館長によるギャラリートーク: 11月30日13時 ・出品作家によるギャラリートーク 11月16日(日) 川代健次郎、佐藤優弘、富川展行 11月29日(土) 大沢尚詩、竹永彩由美、西野理嵐、畠田心珠 12月20日(土) 北川智輝、西岡勇太、福元清蘭 12月21日(日) 北山翠心、落合恵理、前田青柊 1月17日(土) 鎌田龍佑、阿座上 将、佐藤汀雪、柳澤美希 <p>応募点数は全100点。そのうち、上位入選作品(2次審査通過作品)22点が公募展に出品される。</p>					
課題					
新しい賞の周知・拡散方法と今後の展開について。 受賞者の今後の支援方法について。					

事業名	奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2025-2026」 グリーン・マウンテン・カレッジ				
主催	奈良市・奈良市アートプロジェクト実行委員会				
文化振興計画項目	(2)芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充 (14)文化の振興と経済との連携に関すること				
目的	多様な背景を持つ参加者同士が対話を通して相互に学び合う場を提供すること。				
重点対象	市民だけでなく、奈良を訪れる観光客にも気軽に立ち寄っていただける場所として、新しい夜のコンテンツを提供し、奈良での滞在時間を延ばすことで宿泊の促進につなげる。				
目標値(人)	来場者数	実績値(人)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	120		154	99	107
事業区分(指定 管理事業のみ 記入)		事業予算	収入(円)	支出(円)	
			350,000	350,000	
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
本事業は、平成30年に美術家の小山田徹を校長としてスタートした「学び合いの場」である。毎年設けられるテーマのもと、多様な背景を持つゲストを呼び、小さな火を囲みながら参加者と共に対話を繰り広げる。今年度は校長に美術家・京都市立芸術大学学長の小山田徹氏を、教頭にアーティストのブブ・ド・ラ・マドレーヌ氏を迎えゆるやかに対話する。					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期		内容			
7月		ゲスト講師検討			
8月、9月		日程調整			
10月、11月		しみんだより等での事業の告知			
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
報償費	172,000				
委託料	178,000				
現状					
今年のテーマは「ずっと前からここにいたよーココイタ2」。ずっとここに居るのに多くの人には気づかれにくい存在。そんな人や物事と共に仕事をしている人たちにお話を聞く。					
①11月28日(金)18時～20時 教頭:ブブ・ド・ラ・マドレーヌ氏(奈良市在住・アーティスト)×浅野詠子氏(ジャーナリスト) 個別テーマ:「ジャーナリスト」という仕事					
②11月29日(土)18時～20時 校長:小山田 徹氏(美術家・京都市立芸術大学学長)×石井一也氏(香川大学法学部教授) 個別テーマ:ガンディーの考える身の丈の経済					
場所:ならまちセンター芝生広場(奈良市東寺林町38)					
今仕事に就いておらず、仕事や働くことに悩みを持つ方をサポートしている奈良若者サポートステーションに事業サポートを依頼することで社会課題へのアプローチも実施。					
課題					
昨年度事業アンケートにおいて宿泊を行う参加者は27%にとどまり、日帰りの参加者が大半を占めた。日帰りより、多くの経済効果が見込める宿泊につながるように、本事業を連日で行ったり、奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良の学校」を同時開催するなど取り組んだ。					

事業名	奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2025-2026」 古都祝奈良の学校				
主催	奈良市・奈良市アートプロジェクト実行委員会				
文化振興計画項目	(5)文化を担う人材の育成に関すること。				
目的	「奈良で若手アーティストの活動の場を開くこと」と「教科書をつくること」を目的とする3年間のプロジェクト。				
重点対象	奈良で活躍することを考える若手アーティスト				
目標値(人)	来場者数	実績値(人)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	20				18
事業区分(指定 管理事業のみ 記入)		事業予算	収入(円)	支出(円)	
			350,000	350,000	
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
<p>「奈良で若手アーティストの活動の場を開くこと」と「教科書をつくること」を目的とする、令和6年度に開始した3年間のプロジェクト。1年目は公募で選ばれた参加者と合宿を行い、奈良での活動プラン発表を実施。2年目は対話を通じて教科書内容を検討しながら、参加者の活動継続支援。3年目は企画実現会議でのプレゼンテーションを経て参加者の制作を支援し、これらの取組みを基に最終的に教科書を制作する。 プログラムディレクションチーム:小山田 徹氏(美術家・京都市立芸術大学学長)・藤 浩志氏(美術家・秋田公立美術大学教授、NPO 法人アーツセンターあきた理事長)</p>					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期		内容			
7月		実施内容の検討			
8月		日程調整			
9月、10月		HP、SNS等での事業の告知			
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
報償費	350,000				
現状					
<p>昨年度1年目の参加者は、9名であり、2日間で18人の参加であった。 今年度2年目の参加者は現時点(R7.11.7)で13人の参加予定である。 なお、今回の実施日は1日。参加者の内訳は、右記のとおり。</p>					
実施内容				 <ul style="list-style-type: none"> ■ 古都祝奈良の過去プログラム参加者 ■ 古都祝奈良の学校一期生 ■ その他(関係者からの紹介、不明) 	
09:30 1限目 開校式 10:30 2限目 課題を考える時間 12:00 お昼休み 13:00 3限目 対話の時間 14:30 4限目 散歩の時間 16:00 5限目 お茶の時間 18:00 6限目 グリーンマウンテンカレッジ					
課題					
<p>・参加者募集を行った夏～秋は、イベント告知が多い時期で、本事業の特色・魅力が伝わりにくかったかと感じた。当初参加者が集まらず、複数回メールを送るなど行った。関心がある層への確実に届くよう戦略的広報対策が必要。</p> <p>・奈良で若手アーティストが根付き、自走しながら自身の活動を展開できるような仕組みづくり</p>					

事業名	奈良市立小学校での弦楽器体験事業				
主催	奈良市				
文化振興計画項目	(1)市民の文化に対する意識の高揚(2)芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充 (5)文化を担う人材の育成に関すること。(6)青少年の文化活動の支援に関すること。 (8)子どもたちの情操を高める文化環境の整備、(9)文化に係る交流の促進				
目的	小学校では取り組む機会が少ない弦楽器体験やそれらの楽器による生演奏を鑑賞する機会を提供する。				
重点対象	奈良市立小学校の児童(主に低学年)に、弦楽器体験と演奏鑑賞の機会を提供し、音楽を愛する心と豊かな感性を育てる。				
目標値(人)	参加者数	実績値(人)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	350		R7年度より初めて実施		
事業区分(指定管理事業のみ記入)	事業予算		収入(円)	支出(円)	
			1,138,000	1,138,000	
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
<p>通常、小学校では取り組む機会が少ない弦楽器体験やそれらの楽器による生演奏を鑑賞することで、子どもたちの音楽を愛好する心情と音楽に対する感性をより豊かに育むことを目指す。音楽の表現・鑑賞に「ぷらす」する形で、新たな楽器体験や鑑賞体験を行う。</p> <p>奈良市立小学校の児童に向け、弦楽器(主にバイオリン)体験と演奏鑑賞の機会を提供する。(奈良市へのふるさと納税「暮らしに芸術の感動を届けるプロジェクト」による実施)</p> <p>氏実施時期: 令和7年9月～12月頃 氏対象校数・学年: 7～8校(希望制)・主に低学年を想定 氏時間構成: 1～2コマ(45～90分) 例)ウォーミングアップ(5～10分)／体験(30～60分)／演奏鑑賞(10～20分)／ふりかえり(5分) 氏実施形態: 全市立学校に希望を伺い、希望校へ数名のトレーナーを派遣。各校の人数規模や希望コマ数によって、柔軟に調整を行う。</p>					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期	内容				
4月～5月	学校への希望調査を実施(学校教育課)				
5月～6月	希望校と日程・内容調整(学校教育課・文化振興課)				
7月	弦楽器トレーナーの公募開始。「奈良しみんだより」に掲載等				
8月	トレーナーの選定・事前レクチャー				
9月～	各校で事業開始				
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
講師報償	938,000				
行事用消耗品費	140,000				
事務用消耗品費	17,000				
通信運搬費	43,000				
現状					
<p>令和7年度から新たに事業を開始し、9月以降、市立小学校において順次実施している。奈良市へのふるさと納税を活用した「暮らしに芸術の感動を届けるプロジェクト」の1プログラムである。</p> <p>弦楽器体験の実施にあたっては、学校教育課および各校との調整のもと、授業時間や行事予定に合わせて内容や時間配分を柔軟に設定しながら展開している。音楽科の学習や総合的な学習の時間、学校行事などの一環として位置づけることで、児童が無理なく参加できる形を工夫している。</p>					

<実施日・学校一覧>

9月9日(火) 富雄北小学校
9月12日(金) 富雄第三小学校
9月30日(火) ならやま小学校
10月7日(火) 興東小学校
10月27日(月) 済美小学校
11月4日(火) 伏見南小学校
11月11日(火) 西大寺北小学校
11月25日(火) 平城西小学校
1月20日(火) 済美南小学校

初年度の取組として、各校とも児童が弦楽器に直接触れ、演奏者による生の音を体験する機会を設けたことで、「初めてバイオリンをさわった」「本物の音が近くで聞けてうれしい」など、子どもたちから好意的な反応が多く寄せられている。
今後は、学校ごとの時間構成や会場条件に応じた最適な実施モデルを検証しながら、より効果的な事業運営をめざしている。

課題

・今年度は事業初年度であり、それぞれの学校の状況に応じた形で試行的に進めている。学校ごとに希望する児童数や授業時間などの条件が大きく異なるため、プログラムを行う上での負担や課題が見えてきている。今後は、今年度の経験を踏まえ、学校の規模や実施環境に応じた実施パターンを整理しながら、より無理のない形で継続できる方法を検討する必要がある。
・ふるさと納税を財源として事業実施しているため安定した財源確保が課題。